

フーリエ解析と偏微分方程式への応用

日 時: 2021年 1月 5日(火), 6日(水), 7日(木), 8日(金)

全4回 いずれも 18:15~19:30

場 所: オンライン, または, 京都大学理学研究科3号館110号室

講 師: 前川 泰則 (京都大学大学院理学研究科・教授)

対 象: 主に理学部1, 2回生で数学の進んだ内容に興味を持つ学生

新型コロナウイルスの感染状況によっては, 対面参加を許可することがあります. 聴講希望の方は, オンラインの場合も, 対面の場合も登録が必要です. KULASISに記載のGoogle フォームから登録してください.

講義の概要:

多くの自然現象は偏微分方程式により記述される. 本講義では偏微分方程式の解を調べる上で基本的な道具であるフーリエ解析とその応用について, 学部1, 2年生向けの入門的な講義を行う. 偏微分方程式への応用例としては, 緩和双曲型方程式系とよばれるクラスの偏微分方程式系を題材として取り上げ, 時間が経つにつれて解がどのように減衰するかを調べる方法について紹介する.



主催: 京都大学スーパーグローバル大学創成支援事業 数学系ユニット

スーパーグローバル大学創成支援事業 数学系サブユニットでは, 高い数学の研究能力と語学力を備え, 国際的な舞台で活躍できる若手研究者の育成を目指し世界トップレベルの研究者による様々な国際教育プログラムを実施しています.